

答 本場の売り上げ向上のために新規顧客の開拓が必要なことは重々承知している。初心者教室、ピット見学、バスツアーなどを通じ、初心者や女性にもポーターレースを楽しんでもらえるように努めていく。

市の魚の制定を

問 市の魚の制定を検討してみてもどうか。

答 今後、市民の機運が盛り上がったなら、検討していきたい。

柴田安彦（無党派）

市民病院の位置づけと安定経営について

問 地域包括ケア病棟を導入するが、市民病院の二次医療機関としての位置づけに変化が生じないか。

答 急性期の治療から在宅等への復帰を支援するために地域包括ケア病棟の運用を開始するが、救急医療や急性期の入院を中心とした二次医療機関としての



地域の中核病院として最善の医療を提供する市民病院

役割を今後も果たしていきたいと考えている。

問 国は医療費抑制を考えているが、診療報酬の引き下げが心配ではないか。

答 施設基準の厳格化などによる診療報酬の引き下げがないとは言えない状況であり、改定の際には様々な選択肢を検討し、最善策を実施したい。

問 地域包括ケア病棟の導入は医師に対する魅力の低下につながるのか。

答 地域の中核病院として最善の医療を提供し、研修医等が招聘できる魅力ある病院づくりに邁進する。

青山義明（自由クラブ）

フットワーク良く、スピード感ある企業誘致を

問 柏原町堀切地区での企業用地開発の現況は。

答 道路計画の調整がほぼまとまり、県の企業庁からは農振農用地除外について確認を要求されている。市街化調整区域での立地規制緩和策は。

問 国道23号バイパスI.C周辺及び247号中央バイパス沿道の市長が認めた区域では1haから立地可能とし、また、医薬品など



企業立地推進課が作成した「企業用地のご案内」

の技術先端型業種、輸送機械などの指定集積業種であれば、立地可能とする。

問 フルマラソン大会開催について

答 現在の進捗状況はどのようなか。

問 中日新聞社と県に今後の検討への参加をお願いし、了承を得た。大会開催に向けての可能性について、事務レベルでの調査研究を進めていく。

稲吉郭哲（自由クラブ）

病院事業の経営改善について

問 地方公営企業法全部適用を実施する可能性は。

答 全部適用の実施は、職員採用や組織の設置を事業管理者権限で迅速に行え、経営の自由度が高まり、職員の意識改革につながる。医療制度が目まぐるしく変動するなかで、市民病院の経営基盤を強固にし、生き残っていくために、全部適用実施の可能性を本格的に

模索していきたい。

問 仮に全部適用実施となった場合にも、人間ドック事業を市民病院が行うことを考えているか。

答 中期経営計画において、市民の健康増進と医療収益の確保という観点から、市と医師会の協議次第ではあるが、市民病院が人間ドック事業の受け皿になることを視野に入れている。全部適用が実施されれば、人事に関する権限が付与され、必要なスタッフの確保が迅速に図られると考えている。

大場康議（自由クラブ）

蒲郡環状線の進捗は

問 都市計画道路蒲郡環状線の状況と完了予定時期について伺う。

答 現在は中部土地画整理地内、神ノ郷地区、清田・五井地区を進めており、27年度は西田川東側の用地測量等を予定している。計画上の完了時期は平成30年だが地権者の理解をいたさき、更に早期に進めたい。